



ケンブンスイッチ

5月号



カタログや会社案内のデジタル化に PDFより便利な「デジタルブック」

デジタルブックとは、まるで実際の印刷物のように、ページをパラパラとめくりながら読むことができるWebコンテンツのことです。ブラウザだけで表示できるので、スマートフォン、タブレット、パソコンなど様々なデバイスで利用でき、アプリやプラグインのインストールも不要です。

「でもカタログのデジタル化なら、PDFがあれば済むのでは？」…確かに、数ページのパンフレットなら、PDFでも不便は感じないでしょう。しかし、何十ページもあるようなカタログや報告書だと、PDFはデータをダウンロードするだけで時間がかかり、縦スクロールでページを探すのにも一苦労。その点、デジタルブックは、クラウド上のデータを表示するだけなので、ページが多くても表示はスピーディ。ページをめくるのも画面スクロールの必要がないので快適です。

また同じようにページをめくって読むデータに「電子書籍」

がありますが、電子書籍を読むには専用デバイスや専用アプリが必要。多くは「販売」のためのコンテンツなので、「公開」するためのデジタルブックとは目的が異なります。このように、閲覧する側にとってはメリットが多い「デジタルブック」。すでにPDFの納品データがある冊子なら、簡単にデジタルブックにして公開することができます。詳しくは研文社までお問い合わせください。

PDF



デジタル
ブック

